

# 第1学年国語科 学習指導案

2014年11月6日(木) 2校時

1年1組(男子12名 女子10名 計22名) 本時13/15

授業者 森田 幸子

- 1 **単元名** おはなしをたのしんでよう  
**教材名** 「サラダでげんき」(東京書籍1年下)

## 2 単元の目標

- 「教えてあげたいことを『おすすめカード』で紹介し合う」ために、登場人物の行動に着目して様々な物語の中から、興味のある物を選んで読もうとすることができる。  
(関心・意欲・態度)
- 人物が登場する順序に注意し、だれがどんなことを教えてくれたのかに気をつけて読むことができる。  
(C 読むこと(ウ))
- 楽しんだり知識を得たりするために、いろいろな本を選んで読むことができる。  
(C 読むこと(カ))
- 平仮名及び片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うことができる。  
(言 (ウ(ア)))

## 3 単元について

### (1) 単元観

#### ①本単元で取り上げる主な指導事項

小学校学習指導要領・国語の第1学年及び第2学年「C 読むこと」の指導事項「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」を取り上げて指導する。更に「C 読むこと」の指導事項「カ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。」につなげて指導する。

#### ②単元を貫く言語活動とその特徴

「C 読むこと」の言語活動例「ア 本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読むこと。」を具体化した「自分の読んだ本の中から登場人物に教えてあげたいことを『おすすめカード』で紹介し合う。」という言語活動を位置づける。

ここで取り上げる「教えてあげたいことを『おすすめカード』で紹介し合う。」は、このお話に出てきた動物たちと同じように、自分が、登場人物に教えてあげるとしたらどんなことを教えてあげたいか、児童にも同じ目的でアドバイスをさせるのである。並行読書を行うことで、児童は、様々な物語の中から、興味のある物を選んで読もうとする。自分の体験と重ね合わせながら好物を薦める子、自分の経験をふまえてどうしたらいいか一緒になって考える子もいるだろう。物語の中の人物達と同じ目的をもって教えてあげる活動を行えば自分の経験と結びつけて、「ぼくだったら・・・」「わたしだったら・・・」と共感しながら楽しんで読むことができると思われる。

本教材は、大きく四つのまとまりに分けることができる。中心となる動物の場面では、七種の動物がそれぞれの個性を生かしながら次々と登場するという流れになっている。終盤に近づくにつれて、スピード感が増し、近所ののらねこに始まった動物の来訪は、最後にはアフリカゾウが、飛行機に乗ってやってくるというスケールの広がりを感じることができる。

また、この物語の主題は、病気のおかあさんを元気づけたいというりっちゃんの優しい心、そんなりっちゃんを助けてあげようとする明るく元気な動物たちの優しい心にあるといえる。りっちゃんやみんなの思いが重なってできあがったサラダが、おかあさんをたちまち元気にしたということも気づかせたい。

## (2) 児童観

児童は、6月に「かいがら」で、『場面』という用語を学習し、挿絵やしたことを手がかりに、場面の様子を想像しながらお話を読む学習をした。また、「どうやってみをまめるのかな」では、いろいろな本にふれ、敵から自分の身を守っている生き物を見つけ、皆の前で、自分の見つけた「生きもののすごい身の守り方」を発表することができた。7月には「おおきなかぶ」で、場面の順序をとらえ、繰り返しのおもしろさや変化を感じ取りながら学習を進めてきた。そして、学習のまとめとして、自分の読んだお気に入りの本の中から登場人物に簡単な手紙を書くことを経験している。登場人物になったつもりで、動作化したり、会話を音読したりしながら読むことができたが、自分の思いを言葉で表現するのに自信のない児童もあり、発表の声も全体的に小さくなりがちであった。そこで、本単位では、登場する人物をとらえ、会話や行動を手がかりに誰がどんなことを教えてくれたのか、なぜそれを入れたらいいのかみんなに聞こえる声で話せるようにし、楽しく読みすすめていきたい。

読書については、自分からすすんで図書室に通う児童が増え、読書を楽しむ姿が見られるようになってきている。また、並行読書をしていくことでいろいろな本に出会う機会も増えている。しかし、書かれていることを理解するのに難しい児童もあり、その読書量には個人差があるため、これからも引き続き興味関心を持たせ、読書の楽しさを感じとらせたい。

## (3) 指導観

第一次ではいろいろな物語を紹介し、物語文への興味・関心を高め、読書への意欲が持てる導入とする。そして、いろいろな物語を読んで「登場人物に教えてあげたいことを『おすすめカード』で紹介し合う」という学習の見通しをもたせる。さらに並行読書ができる環境整備をし、後半の読み広げへの興味・関心につなげていく。

第二次では、自分の気に入ったところや好きなわけを交流する。子どもたちが選んだ場面やそのわけを交流し合うことで「いろいろなおもしろさ」に気づかせるとともに、自分の考えの根拠となる文を見つける力や自分が好きな場面のわけを人に伝える力をつけ、自分の気に入ったところや好きな登場人物などを理由を付けて話せるようにしたい。また、登場する人物をとらえ、誰がどんなことを教えてくれたのか、サラダになぜそれを入れたらいいのかに注意して物語を読んでいく。人物の挿絵を登場順に並び替えたり、人物がしたことをまとめたりする活動を通して、順序をとらえて楽しくお話を読み進めていきたい。さらに動物たちの会話の中から、選んだ材料は、動物の好みであったり、動物に関係の深いものであったりすることを押さえ、それを入れたらどうなるかには、動物の得意なことや自慢などが入っていることにも気づかせたい。動物達がりっちゃんに教えてあげたものには、理由や根拠があることを学習した子ども達は、第三次での言語活動においても、理由や根拠を明らかにしておすすめカードで紹介していくと思われる。

第三次では、並行読書で読んだ自分のお気に入りの本の中から、登場人物に教えてあげたいことを『おすすめカード』に書き、紹介し合う。子どもたちが「教えてあげたいこと」を交流し合い、お互いの考えを聞き合う中で、多様な思いや考えがあることを知り、新たな発見をすることで、読書に対する興味・関心を持つことができるようにしたい。友だちの紹介した『おすすめカード』の本に興味をもち、(もし自分だったら、どんなことを教えてあげようかな?読んでみたいな・・・)といった本単元で学習した物語の楽しみ方を生かして、豊かな読書活動につなげていきたい。

#### (4) 研究テーマとの関連

主体的に児童が学ぶためには、児童自身が単元を通して目的やゴールイメージをもって言語活動を進めていく展開にしていく必要がある。そこで、導入では並行読書の本を紹介したり、また教師が作成した「登場人物に教えてあげたいこと」を書いた『おすすめカード』の例を見せることで、単元全体で付けたい力や流れを理解させ、言語活動の見通しをもたせたい。また、自分のお気に入りの本に出てくる登場人物に「教えてあげたいこと」や「なぜそう思うか、その理由や根拠」を紹介するという言語活動を位置付けることで、主体的に場面の様子を想像しながら読む単元構成とした。また、国語の時間だけでなく毎日の読書や読みきかせ、ひかりタイム等の帯タイム、さらに毎週1時間の図書の時間も活用し、並行読書をはじめ、さらにいろいろな本を読んでみようという意欲につなげていきたい。

#### 4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	・いろいろな物語に興味を持ち、楽しんで読もうとしている。
読む能力	・人物が登場する順序に注意し、だれがどんなことを教えてくれたのかに気をつけて、場面の様子を想像しながら読んでいる。(ウ) ・楽しんだり知識を得たりするために、いろいろな本を選んで読んでいる。(カ)
言語についての 知識・理解・技能	・平仮名及び片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(ウ(ア))

#### 〈言語活動のモデル 「おすすめカード」 〉



## 5 単元構想図

### 単元を貫く言語活動

自分の読んだ本の中から登場人物に教えてあげたいことを『おすすめカード』で紹介し合う。

#### ◇学習の流れ

並行読書を取り入れる。

#### 第一次

- 本の読み聞かせを聞き、『おすすめカード』のモデルを見て、物語を読むことへの興味を持つ。
- 自分の読んだ本の中から「教えてあげたいことを『おすすめカード』に書いて紹介しよう」という学習のめあてをもつ。
- 教材のめあてと学習の流れを確かめ、物語を読んで大まかな内容をとらえる。

#### 第二次

- 教材文で自分の好きなところについて発表する。
- だれがどんなことを教えてくれたのかに気をつけて、場面の様子を想像しながら読む。
- りっちゃんに「教えてあげたいこと」を考える。

#### 第三次

- 自分の読んだ本の中から、登場人物に「教えてあげたいこと」を考える。
- 『おすすめカード』に書いた「教えてあげたいこと」を紹介し合い、感想を伝え合う。

#### ◇意識の流れ

##### 【児童の実態】

・文字を覚え、本を楽しんで読む児童も増えてはきているが、書かれていることを理解するのが難しい児童もいて、読書量には個人差がある。

- ・いろいろな本を読んでみたいな。
- ・どんなことを『おすすめカード』に書くのかな。
- ・どんなことを教えてあげようかな。楽しみだな。
- ・お母さんのためにサラダを作るお話なんだな。
- ・いろいろな動物がサラダ作りを教えてくれるお話なんだな。

- ・物語を読んで好きなところや感じたことは、みんな違っているんだな。
- ・どうしてサラダを作ろうと思ったのかな。
- ・自分だったら、こんなことを教えてあげたいな。

- ・どんなことを教えてあげようかな。
- ・こんなことを教えてあげたいな。
- ・その本もおもしろそうだな。読んでみたいな。
- ・本って楽しいな。これからもいろいろな本を読んでみたいな。

#### 単元で付けたい力

- ・登場人物の行動に着目し、教えてあげたいことを紹介し合うためにいろいろな本を楽しんで読む力。

## 6 指導計画及び評価計画（全15時間）

	時	学習活動	主な評価規準
第一次	1	<div>どんなことを『おすすめカード』にかくのかな。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師による読み聞かせ、おすすめカードのモデルを見る。</li> <li>・学習課題を知り、みんなに紹介するという学習への見通しを持つ。</li> </ul>	【関】物語に興味をもち、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。 (発言・行動観察)
	2	<div>「サラダでげんき」は、どんなお話だろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の大体を知る。</li> <li>・場面わけをする。</li> </ul>	【読】物語の内容を大まかにとらえ、「サラダでげんき」がどんなお話か考えている。 (発言・ワークシート)
	3	<div>分からない言葉の意味を知ろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分からない言葉や読み方について確認する。</li> <li>・分からない言葉の意味を教え合う。</li> </ul>	【言】平仮名及び片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使おうとしている。 (発言・行動観察)
第二次	4	<div>自分のすきなところを発表しよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のすきな場面を選び、交流し合う。</li> </ul>	【読】自分のすきなところとそのわけを発表している。 (発言・ワークシート)
	5	<div>りっちゃんがサラダを作ろうと思ったわけを考えよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サラダをつくろうと思ったわけを考え、交流し合う。</li> </ul>	【読】りっちゃんが、サラダを作ろうと思ったわけについて、りっちゃんの行動や会話に着目し、想像しながら読んでいる。 (発言・国語日記)
	6 ・ 7	<div>誰が、どんなことを教えてくれたのか考えよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章や会話から想像したことや考えたことを発表し合う。</li> </ul>	【読】動物の登場する順序に注意し、だれがどんなことを教えてくれたのかに気をつけて、場面の様子を想像しながら読んでいる。 (発言・ワークシート)
	8	<div>動物たちが、やってきた順序やわけを考えよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やってきた順序について考える。</li> <li>・教えてくれた材料について考える。</li> </ul>	
	9	<div>サラダを食べたりっちゃんやお母さんの気持ちを考えよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さんが、たちまち元気になったのは、どうしてかわけを考える。</li> <li>・りっちゃんとお母さんは、サラダを食べながら、どんなことを話したか想像する。</li> </ul>	【読】サラダを食べるりっちゃんやお母さんの気持ちを想像しながら読んでいる。 (発言・国語日記)

第三次	10 ・ 11	<div>りっちゃんにどんなことを教えてあげようかな。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>どんなことを『おすすめカード』に書くのかを知る。</li> <li>りっちゃんに「教えてあげたいこと」を『おすすめカード』に書く。</li> </ul>	<b>【読】</b> りっちゃんに「教えてあげたいこと」を考えている。 (おすすめカード)
	12	<div>どんなことを『おすすめカード』にかこうかな。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな本を読み、自分が教えてあげたいことがのっている本を選ぶ。</li> <li>教えてあげたい登場人物を選ぶ。</li> </ul>	<b>【読】</b> 登場人物の行動に注目し、教えてあげたいことを『おすすめカード』で紹介し合うために物語に興味を持ち、楽しんで読んでいる。 (行動観察)
	13 (本時) ・ 14	<div>登場人物に教えてあげよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が選んだ本や、教えてあげたい登場人物を発表する。</li> <li>登場人物に「教えてあげたいこと」を考える。</li> <li>自分の読んだ本の中から「登場人物に教えてあげたいこと」を『おすすめカード』に書く。</li> </ul>	<b>【読】</b> 自分の読んだ本の中から登場人物に「教えてあげたいこと」を考えている。 (発言・おすすめカード)
	15	<div>『おすすめカード』で紹介し合おう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>教えてあげたいことを『おすすめカード』で紹介し合い、感想を伝え合う。</li> </ul>	<b>【関】</b> 教えてあげたいことを紹介し合って、思ったことや、わかったことを伝え合おうとしている。 (発言・国語日記)

## 7 学習の展開

### 第三次 2時間目 (13/15)

- (1) 目標 自分の選んだ本の中から、登場人物に教えてあげたいことを考えることができる。  
 (2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 単元のねらいと前時までの学習を思い出し、学習の流れを確認する。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div data-bbox="608 638 1249 703" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">『おすすめカード』でしようかいするために</div> <div data-bbox="512 748 1134 824" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">とうじょうじんぶつに おしえてあげよう。</div>	<p>○単元のゴールイメージを確かめさせ、目的意識を持たせる。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 自分が選んだ本や、教えてあげたい登場人物を発表する。</p> <p>(2) 自分の読んだ本の中から、「登場人物に教えてあげたいこと」を『おすすめカード』に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教えてあげたいこと</li> <li>・わけ</li> </ul> <p>(3) 交流し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア</li> <li>・全体</li> </ul>	<p>○自分が選んだ本や、教えてあげたい登場人物を紹介させ、本時への興味を持たせる。</p> <p>○『おすすめカード』にどんなことを書いたらいいのかわかませる。</p> <p>☆教えてあげたいことを考えている。</p> <p>【読】(『おすすめカード』・発言)</p> <p>※自分で見つけて書きにくい児童には、前前時に書いた「りっちゃんに教えてあげたこと」を思い出させ、支援する。</p> <p>○書き終えた児童には、文字の誤りがないか、読み返しをするよう声をかける。</p> <p>○まだできていない児童は、友達の発表を聞くことで、自分のカードの参考にする。</p> <p>○机間指導の中で、反応しながら聞くことができているペアを褒めたり、助言して励ましたりする。</p>
<p>5 次時の学習について知る。</p> <div data-bbox="331 1821 812 2000" style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p><b>家庭学習</b></p> <p>今日、自分が書いた「教えてあげたいこと」をみんなの前で紹介できるように、読む練習をしてくる。</p> </div>	<p>○次時の学習では、自分が選んだ本に出てくる登場人物の絵を描いて『おすすめカード』を完成させることを伝え、次時への興味を持たせる。</p>

(3) 評価規準

B 概ね満足できる状況

◆教えてあげたいことを考えている。

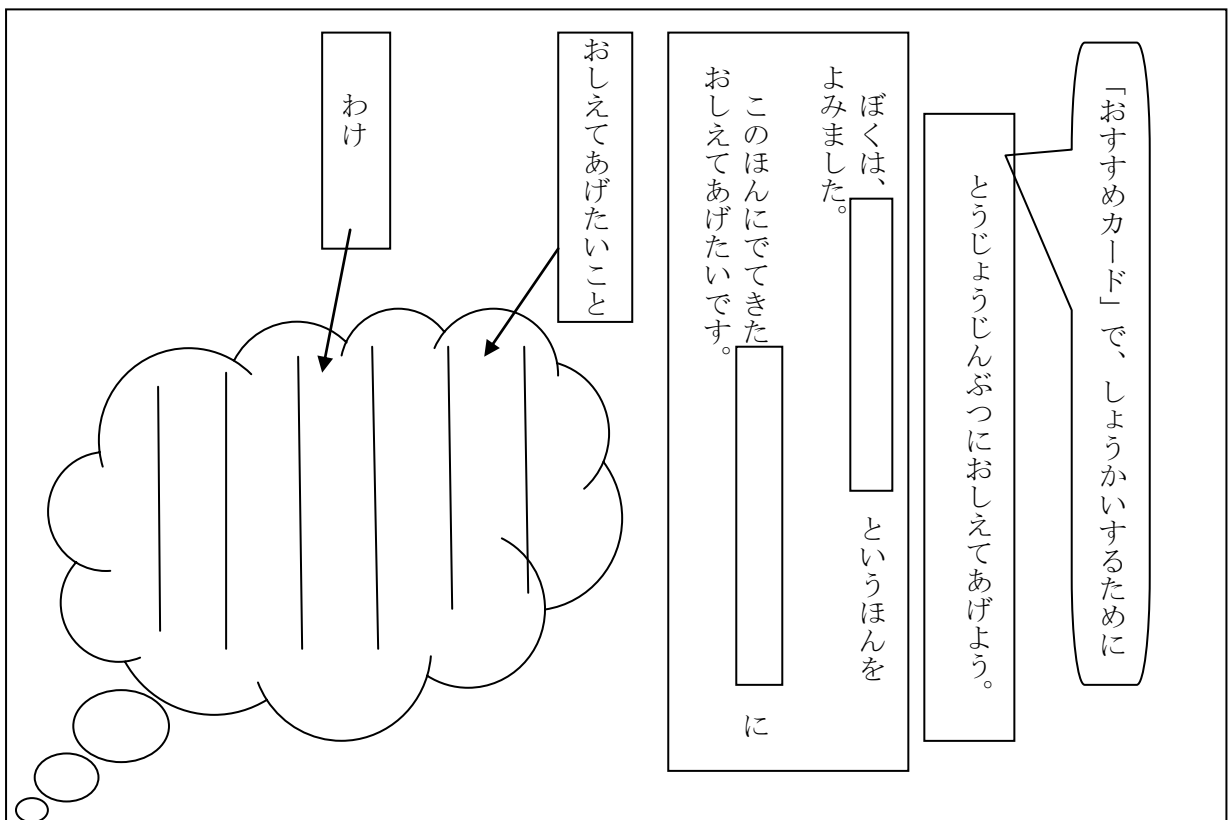
- ・ ばばばあちゃん、おこのみやきには、おもちを入れるといいですよ。  
おいしくなりますよ。

A 十分満足できる状況

◆教えてあげたいことだけでなく、自分の体験や生活と照らし合わせて、そのわけも考えている。

- ・ ばばばあちゃん、おこのみやきには、おもちを入れるといいですよ。  
おなかもいっぱいになりますよ。力ももりもりわいてきて、おもたい  
にもつも、もてますよ。

(4) 板書計画



(5) 準備物

- ・ 自分が選んだ並行読書の本・本袋
- ・ おすすめカード（掲示用・児童用）